

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成25年12月26日 (2013.12.26)

【公表番号】特表2013-512310(P2013-512310A)

【公表日】平成25年4月11日 (2013.4.11)

【年通号数】公開・登録公報2013-017

【出願番号】特願2012-541128(P2012-541128)

【国際特許分類】

C 0 8 L 23/10 (2006.01)

C 0 8 L 23/04 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 23/10

C 0 8 L 23/04

【手続補正書】

【提出日】平成25年11月11日 (2013.11.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

A S T M D 5 4 2 に従って測定された屈折率 ( n 1 ) および A S T M D 1 2 3 8 に従って 2 3 0 / 2 . 1 6 k g で測定されたメルトフローレート ( M F R ) を有するプロピレン系ポリマー、ならびに A S T M D 5 4 2 に従って測定された屈折率 ( n 2 ) および A S T M D 1 2 3 8 に従って 1 9 0 / 2 . 1 6 k g で測定されたメルトインデックス ( M I ) を有するオレフィン系エラストマーを、

【数 9】

$$\frac{MI \times 2.8}{MFR} > 0.28 \quad \text{及び} \quad |n1 - n2| > 0.008.$$

となるように選択するステップと、

オレフィン系エラストマーの粒子を前記プロピレン系ポリマーのマトリックスにブレンドするステップであって、該プロピレン系ポリマーが連続相であり、該エラストマーが不連続相であるステップと、

ブレンドを、 8 , 0 0 0 s e c <sup>-1</sup> から 1 2 , 0 0 0 s e c <sup>-1</sup> のせん断速度にかけて前記エラストマーの粒子を細長い粒子にするステップと、そして、

ブレンドを、 A S T M D 1 0 0 3 に従って測定して約 1 5 % 未満のヘイズ値を有する成形品に形成するステップと

を含む方法。

【請求項 2】

前記細長いエラストマー粒子が平均粒子幅の少なくとも 1 0 倍の平均長さを有する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

連続相であるプロピレン系ポリマーであって、 A S T M D 5 4 2 に従って測定された 1 . 4 9 5 から 1 . 5 0 5 の屈折率 ( n 1 ) および A S T M D 1 2 3 8 に従って 2

30 / 2.16 kgで測定された0.5 g / 10 minから100 g / 10 minのメルトフローレート (MFR) を有するプロピレン系ポリマーを60 wt %から99 wt %

、  
前記プロピレン系ポリマー中に分散され、不連続相であるオレフィン系エラストマー粒子であって、ASTM D 542に従って測定された1.470から1.497の屈折率 (n2) およびASTM D 1238に従って190 / 2.16 kgで測定された0.5 g / 10 minから30 g / 10 minのメルトインデックス (MI) を有するオレフィン系エラストマー粒子を40 wt %から1 wt %含み、

| n1 - n2 | > 0.008であるポリマー組成物であって、

該ポリマー組成物はASTM D 1003に従って測定された約15 %未満のヘイズ値および > 0.28の粘度比 (VR) を有し、ここで

【数10】

$$VR = \frac{MI \times 2.8}{MFR}$$

であるポリマー組成物を含む、射出成形品。

【請求項4】

前記細長いエラストマー粒子が、5 nmから200 nmの平均幅を有する、請求項3に記載の成形品。

【請求項5】

プロピレン系ポリマーが有核プロピレン / エチレンランダムコポリマーである、請求項3または4に記載の成形品。